

小西さん、いくつかインタビューさせていただきます。今回はお忙しい中、インタビューを受けてくださりありがとうございます。これからも応援していますので、頑張ってください。

- 野球を始めたきっかけを教えてください。  
→3歳上の兄の影響で始めました。
- プロ入り前、経歴を教えてください。  
→仁和小学校（軟式野球）  
北野中学校（陸上部）  
※ボーイズリーグ（地域の硬式野球クラブ）京都ブレーブスに練習生として参加。  
北嵯峨高校（ソフトボール部）  
龍谷大学（ソフトボール部）  
大阪 BLESS（女子硬式野球チーム）  
兵庫スイングスマイリーズ（2010-2011）  
大阪ブレイビーハニーズ（2012-）
- 小西さんは高校時代にソフトボールをしていたと聞きましたが、本当ですか。  
→野球をしたかったんですが、やる場所がなく、ソフトボール部に入りました。
- 野球・ソフトボール経験者として、ソフトボールと野球の違いについて教えてください。  
→ソフトボールは塁間なども短く、一瞬で決まる、スピード感重視の競技です。  
野球はスピード感もありながら、間があるので、より奥深いプレーが追求できると思います。
- どうして野球のほうが好きなんですか。  
→打つ、走る、守る、投げる、全てにおいて完璧が見えないので、より高いレベルを追求したくなりました。
- 日本女子プロ野球リーグが誕生して、プロ野球選手になった時にどのようにお感じになりましたか。  
→やりたかった野球をやっと追求できる喜びが1番でした。
- プロ野球選手として、日常生活について教えてください。  
→朝からお昼過ぎまで毎日練習をして、夕方からは、リーグが支援してくれている資格取得（柔道整復師）のため専門学校に通っています。また週に一度の休みにも、ジムに通い体のケアをしています。
- 大阪ブレイビーハニーズは前期3位で終わりましたが、後期優勝しましたね。おめでとうございます。前期に何か困難はありましたか。それに対してどのような対処をされましたか。  
→監督・コーチ・選手も新しく、チームがまとまることに時間がかかったので、前期はチーム作りに徹しました。試合を重ねる毎に課題（守備面）を克服し、どうすれば後期勝つことができるかを考えて戦ってきたので、よい結果につながったと思います。

- 今シーズン改めて最優秀防御率投手と最多勝利投手になりましたね。おめでとうございます。来シーズンに向けて、何か個人的な目標があれば教えてください。  
→これからも最多勝にはずっとこだわっていきたいです。
- 
- IBAF 女子ワールドカップに2度出場して、どのような経験になりましたか。  
→世界の野球が見ることができて、さらに野球の面白さや、色々な戦い方を知ることができました。また、世界と戦って1番感じた違いはパワーです。これからよりレベルの高い野球をするためにも、もっと体を鍛えないといけないと思いました。
- 世界中の女子野球のレベルに対して、どのように思いますか。  
→日本も含めて、まだまだ伸びる要素がたくさんあると思いますし、これから競技人口が増えてくることで、さらに進化するスポーツだと思います。
- 日本は野球がメインスポーツですが、IBAF 女子ワールドカップはマスコミの報道があんまりなかったそうですが、小西さんはそれに対してどのように思いますか。  
→多くの方と同じ意見なんですけど、もっとメディアの力をお借りして女子野球自体の存在を広める必要があると思います。そのためには、私たちプロが先頭に立ち、選手とスタッフの皆さんと力を合わせて日々努力するしかないと思っています。
- NPB の優勢で、女子プロ野球を推進するのは難しいですか。  
→すぐには無理かもしれませんが、ただ、NPB さんも女子野球を応援してくださっているので、男女関係なく、野球という素晴らしいスポーツの発展のために一緒に盛り上げることができればと思います。
- 小西さんは日本女子プロ野球の将来について何かを期待していますか。  
→女子プロ野球リーグが誰もが認める日本の頂点になる事で、女子野球全体がもっと活性化され、競技人口や野球のレベルの向上に繋がるとと思いますので、今私たちにできる事を精一杯やりたいと思いますし、未来の女子プロ野球選手たちの為にも、しっかりとした土台を作りたいと思います。

どうもありがとうございました。